

由仁だより



アウトプットの重要性

校長 鈴木 祐子

アウトプット（output）とは、「出力」「発信」という意味の英語です。対義語はインプット（input）で、「入力」「投入」といった意味となります。（アウト＝外に出す）（イン＝中に入れる）とイメージしていただけるとわかりやすいかもしれません。

授業で学んだこと（＝インプット）を、話し言葉や文字にする（アウトプット）ことにより、基礎学力の定着のみならず、コミュニケーション力向上もねらいとしています。

では、なぜ「アウトプット活動」が重要となるのかということですが、アウトプットには以下のような利点があります。

① 記憶力が上がる

頭の中にあることを書き出したり、言葉に発したりすることで記憶に残りやすくなります。

② 理解度が上がる

アウトプット活動の一つである「人に話す」ということは、自分自身の理解を深めるために有効です。例えば算数の問題の解き方を隣の子に説明すると、自分一人で完結するよりもより記憶に残ります。また、人に説明しながら、自分の思考が整理されていきます。

③ 習熟度がチェックできる

他の人に説明したり文章にまとめたりするためには、情報を順序立てて構成する必要があります。曖昧な点や情報が不足している点があると、アウトプットの際に支障をきたします。よって、自分の理解度が自ずとわかるようになります。

このような利点を踏まえたうえで、「アウトプット活動」を意識して取り入れています。授業の中でのアウトプット活動は、これまでも行われてきました。例えば、「隣の子と相談してごらん」「グループで話し合ってみよう」等です。

そこから更に教師側が意図的に「今日授業でわかったことを隣の子に説明しましょう」と学んだことを人に話したり、「授業でわかったことのふりかえりをしましょう」とノートやタブレットに書き出すことを重要視していくことを今年度の重点としています。

最初から上手にアウトプットができないのは誰でも同じです。場数を踏んでいく中でアウトプットの要領をつかみ、アウトプットの質を高めていくことを全校で目指していきます。

9月の行事予定

1	火	委員会（前期最終・反省）
2	水	2年見学旅行（サケのふるさと千歳水族館）
3	木	避難訓練（火災想定）
4	金	3年見学旅行（北海道開拓の村）
5	土	
6	日	
7	月	全校朝会
8	火	
9	水	4時間授業 小さな本箱1・2年
10	木	演劇鑑賞
11	金	5年見学旅行（札幌市防災センター他） 小中合同音楽（6年）
12	土	
13	日	
14	月	5年稲刈り体験
15	火	
16	水	5年木育授業（総合的な学習の時間） 小さな本箱3・4年
17	木	
18	金	児童会役員選挙（立会演説会） 3年たらい稲 稲刈り
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	5年いのちの授業 小さな本箱5・6年
25	金	学習発表会 会場設営5・6年 学校開放停止（～10/19）
26	土	
27	日	
28	月	学習発表会特別時間割開始
29	火	後期委員会①
30	水	

見学旅行が続きます

9月の前半は各学年の見学旅行が続きます。お弁当の準備など保護者の皆様にはお手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

2日（水）2年生 サケのふるさと千歳水族館

4日（金）3年生 北海道開拓の村

11日（金）5年生 札幌市防災センター

・読売新聞大曲工場

夏休み学習会 52名参加

7月27、28日の2日間、夏休み学習会がありました。52名が参加し、集中して取り組む様子が見られました。昨年同様、立命館慶祥高校の生徒の他、今年は大森高校の生徒もボランティアとして小学生の学習サポートに来てくれました。また、学習の後は体育館で、高校生との交流会を行い、ドッジボールや鬼遊びで楽しみました。



木育 × 食育体験活動

5年生で「木育」の授業を行います。本校の外国語講師であり、木育マイスターの資格を持つ村井先生を指導者に、森林の仕組みや文化について学び、また、箸づくりを通して木材の特徴やものづくりの楽しさを学びます。箸づくりは10月30日（金）の「ゆに教育の日」で、「親子箸づくり体験」として行いますので、ご都合を合わせ、ぜひご参加のほどお願いいたします。

【木育×食育体験活動の予定】

回	日 時	内 容
1	9/16（水）4校時	森と木を知る（座学）
2	10/30（金）3・4校時	親子箸づくり体験
3	11/13（金）給食時間	自作の箸で給食を食べる

*3回とも保護者の皆様へお声がけする予定です。詳しくは、別途案内を配付いたします。

演劇鑑賞会があります

9月10日（木）に「劇団風の子」をお招きして演劇鑑賞会を行います。今年度の演目は「がんばれ、かわず君」。生の舞台ならではの臨場感を楽しみながら、子どもたち一人ひとりの表現の幅が広がるきっかけとなれば幸いです。

校内照明のLED化工事が進行中です。また、防犯・安全対策強化のため、職員玄関を電磁施錠（オートロック）化しました。

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果

4月に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします（個人の結果については配付済みです）。学校といたしましては、今後、本調査の教科並びに児童質問における調査結果から見て取れる成果や課題について分析し、学習指導等の改善に向け取り組んでまいります。ご家庭におかれましては、家庭学習の一層の充実や生活リズムの改善に向けご指導いただきますようお願いいたします。

国語

全国の平均正答率と比較してほぼ同等の結果でした

【平均正答率(%)】

本校	全国	北海道
62	60.9	60

- ▶全国平均とほぼ同様（全国比+1.1%）
- ▶全道平均をやや上回っている（全道比+2.0%）

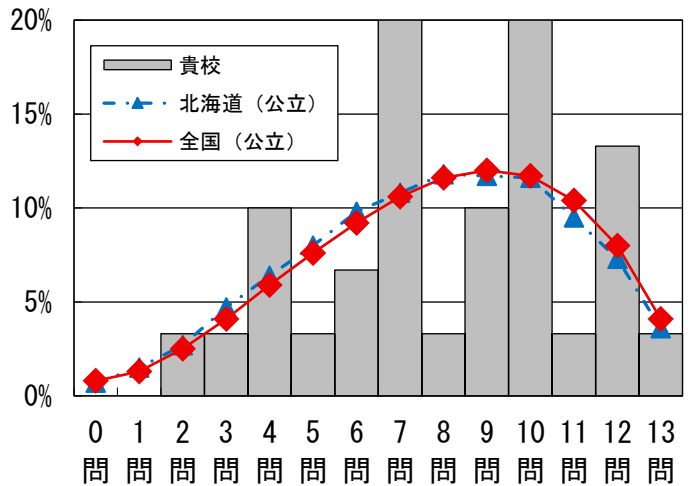
【内容別の正答率(%)】

区分	本校	全国
言葉の特徴や使い方	71.7 全国比+4.9	66.8
情報の扱い方	55.0 全国比+2.7	52.3
話すこと・聞くこと	68.9 全国比+3.1	65.8
書くこと	36.7 全国比-9.0	45.7
読むこと	66.7 全国比+0.8	65.9

○正答率の高い問題

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う（言葉の特徴や使い方）
- 話や文章の種類とその特徴について理解する

正答数分布グラフ



●正答率の低い問題

- 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する（書くこと）
- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える（書くこと）

算数

全国の平均正答率と比較して上回る結果でした

【平均正答率(%)】

本校	全国	北海道
65	56.4	54

- ▶全国平均を上回っている（全国比+8.6%）
- ▶全道平均を大きく上回っている（全道比+11%）

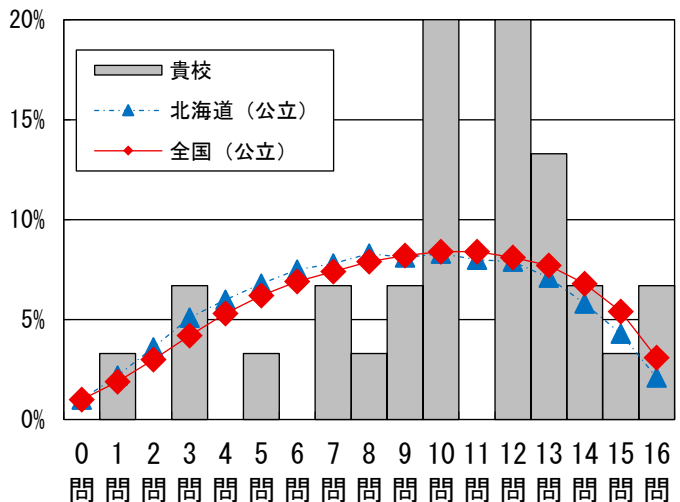
【領域別の正答率(%)】

区分	本校	全国
数と計算	69.2 全国比+8.1	61.1
図形	62.5 全国比+7.2	55.3
測定	80.0 全国比+1.9	78.1
変化と関係	53.3 全国比+12.2	41.1
データの活用	57.5 全国比+8.9	48.6

○正答率の高い問題

- 単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉える（数と計算）
- 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から正しいものを判断する（変化と関係）

正答数分布グラフ



●正答率の低い問題

- 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶ（変化と関係）
- 二次元の表から、条件に合う数を読み取る（データの活用）

児童質問調査から見受けられる傾向

「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合

- ・学校に行くのは楽しいと思う
全国比 **+14.3%**
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれている
全国比 **+8.6%**
- ・困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
全国比 **+10.1%**
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい
全国比 **+18.9%**
- ・友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たに気付いたりできている
全国比 **+11.1%**
- ・タブレット等を使って、プレゼンテーション（スライド）を作ることができる
全国比 **+9.3%**
- ・算数の授業で学習したことを、生活の中で活用できている
全国比 **+10.3%**



- ・学校生活への満足度が高く、教師や友達と良好な関係を築き、明るく前向きな気持ちで活動している児童が多い。
- ・他者と協働しながら学びを深める学習スタイルが定着している。
- ・学習を始め、日常的にタブレットに触れてきたことにより、ICT 活用スキルが高まっている。
- ・算数科においては、身に付けた知識や技能を日常の問題解決に生かす思考力が育っている。専科教員による指導も大きいと考えられる。

- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている
全国比 **-6.9%**
- ・スマートフォン等で1日あたりの SNS や動画視聴時間（3時間以上と答えた割合）
全国比 **+17.3%**
- ・学校の授業時間以外に、平日1日当たりの勉強時間（1時間以上と答えた割合）
全国比 **-17.7%**
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりしている
全国比 **-15.9%**
- ・英語の勉強は得意
全国比 **-17.9%**



- ・起床時刻を始め、家庭学習時間やゲーム、スマートフォン等の使用時間など、家庭と学校が連携し、望ましい生活習慣確立への取組が必要。
- ・授業を中心とした道徳教育の充実が課題
- ・英語に対する苦手意識をもっている児童が多い。

由仁小学校の今後の取組

由仁小学校では、全国学力・学習状況調査の結果をはじめ、日常の学習や生活から見て取れる課題について全教職員で共有し、改善に向け取組を進めます。

- ①学んだ知識や自分の考えを発表・発信し（アウトプット）、協働的に課題を解決する力を高めます。
- ②ペアや小集団で多様な視点から意見を交わし合い、対話を通して豊かな表現力やコミュニケーション力を育みます。
- ③構成や引用を工夫する記述指導と毎時間の振り返りを徹底し、論理的思考力と主体的に学ぶ力を育みます。
- ④デジタルドリルによる個別最適な学び、思考ツールとしてのアイデア整理、学習履歴の蓄積に ICT を有効活用します。
- ⑤多角的な話し合いを中心とした「考え議論する道徳」の実践と日常の生活マナー指導を通し、道徳性と人権意識の醸成に努めます。
- ⑥授業と連動した自主学習の取組を進め、家庭と連携して毎日の学習習慣の定着を目指します。
- ⑦基本的生活習慣のセルフチェックと情報モラル教育を推進し、健康的な日常生活を送る意欲を高めます。